

車いすラグビー日本代表として活躍するアスリート社員



競技中の倉橋（2021年4月にBLITZよりAXEに移籍済）

当社のダイバーシティを象徴する社員に、倉橋香衣がいます。車いすラグビーの選手です。先の大会では日本代表として銅メダルを獲得しました。大学時代トランポリン部に所属していた倉橋は練習中の事故で頸髄を損傷。車いす生活となりました。その後、所沢の国立障害者リハビリテーションセンターで出会ったのが車いすラグビー。「これからできるスポーツは何だろう」と考える中で、「車いすがぶつかっても怒られないからいいな」と、2015年4月、埼玉県内の車いすラグビーのクラブチームBLITZ（※）に加入しました。※2021年4月にAXEに移籍

倉橋が当社に入社したのは2016年4月、日本代表になる前のことです。「周りの選手と同じく、仕事とスポーツ活動を両立したいという思いがありました」。入社まもなく、2017年1月には日本代表の選考合宿に招集され、その後、男女混合のこの競技で初の女性日本代表としてプレーするようになりました。

先の大会では準決勝でイギリスに惜敗。金メダルへの道が途絶えました。「その時の悔しさと不甲斐なさは、今でも忘れていません」。しかし翌日の3位決定戦では「気持ちの切り替えは難しかったですが、とにかく目の前の試合のことしか考えず、自分のプレーを心掛けました」。結果、日本代表チームはオーストラリアから勝利を掴むことができました。

会社では人事部に所属。パソコンも使いながら、経理業務や資料作成を行っています。当社では倉橋の入社をきっかけに変化したものがたくさんあります。その一つが「働き方」。入社後1年ほどは週3日出社しながら競技に打ち込んでいましたが、日本代表としての活動が増えてきた翌年からは、働き方をその都度相談して決めてきました。会社として、多様な人材がパフォーマンスを最大限に発揮できる働き方について考えるきっかけとなりました。また社内の設備もバリアフリー化が進み、社員全体にとっても働きやすい環境に変わりました。



日本代表チームでの活躍に対する社内表彰式

当社はダイバーシティ&インクルージョンを新たな成長の原動力と位置付けていますが、車いすラグビーという競技、そして倉橋は当社のダイバーシティ&インクルージョンを体現する存在です。倉橋はこれまで気が付かなかった新たな視点を提供してくれます。また、明るく前向きな姿勢で社内を盛り上げ、競技を通じた嬉しいニュースは社員に一体感をもたらします。アスリートとしても「強化指定選手として選ばれている限りは、いつどんなときに代表に招集されたとしても対応できるよう、しっかり準備していきます」と今後を見据えており、今後さらなる活躍が期待されます。

当社は、日本車いすラグビー連盟のオフィシャルパートナーを務めています。これまで日本で開催さ

れた大会では、ボランティアスタッフとして当社の社員が参加し、選手への帯同、競技会場や練習会場の設営や運営など、大会運営のサポートをしてきました。また、現在は直接会場で応援することが難しい状況ですが、さまざまな形で応援を続けています。今後も車いすラグビー競技のさらなる発展を支援し、倉橋のアスリート活動を支えていきます。

【倉橋香衣のメディア掲載情報】

・「女子が当たり前になってほしい」と倉橋…車いすラグビー、女子選手は国内で3人だけ：東京パラリンピック2020速報：オリンピック・パラリンピック：読売新聞オンライン ([yomiuri.co.jp](https://www.yomiuri.co.jp))

・車いすラグビー倉橋香衣、パラリンピックで敗戦した準決勝は「笑うことを忘れていた」|パラスポーツ|集英社のスポーツ総合雑誌 スポルティーバ 公式サイト [web Sportiva \(shueisha.co.jp\)](https://www.shueisha.co.jp)